

## 学習指導案

日付	令和〇年〇月〇日 〇時間目	指導者	〇〇〇〇高等学校 〇〇 〇〇
科目	ソフトウェア活用 使用教科書	ソフトウェア活用	使用教材 Excel、ChatGPT
指導学年	〇〇〇〇科 〇年〇組 〇名 男子〇名 女子〇名	使用教室	〇〇〇〇
单元名	第6章 第3節 情報システムの開発演習 ②表計算ソフトウェアによる情報システム開発		
単元の目標	情報システムの開発を行うための現状分析と要件定義、基本設計の方法を学習する。 表計算ソフトウェアを利用した情報システム開発の手法を学習する。		
時間配当	10時間	本時の位置	1時間目
本時の主題	与えられたテーマを、表計算ソフトウェアを利用してシステム化するために、システム開発工程の要件定義を考えよう。		
本時の目標	表計算ソフトウェアの特性を見出し、その強みを最大限に生かそうとするとともに、情報システム開発に対して主体的かつ協働的に取り組む。 <span style="float: right;">【主体的に学習に取り組む態度】</span>		
	指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の目標と学習内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の目標と学習内容を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机列、身だしなみを整えさせた上で授業を始めるよう注意する。</li> </ul>
展開 40分	<b>Q. システムを開発する際に必要なことはなんでしょう？</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発工程の確認</li> <li>10グループに分け、あらかじめ設定したテーマをランダムに選ばせる。</li> <li>各グループのテーマに実装すべき機能を考える。(要件定義)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発工程を確認する。</li> <li>3～4人のグループに分かれ、10種類の封筒からテーマを選ぶ。</li> <li>各グループで、与えられたテーマに必要な機能を考え、交流する。</li> <li>グループで交流した内容を各自まとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問の返答がない場合、1年生の時に学習したプログラミングの内容を思い出すよう助言する。</li> <li>システム開発の工程に沿って進めることを確認する。</li> <li>情報処理の知識・技術を考慮したグループ編成をする。</li> <li>詳細なテーマ設定は、各グループで設定することを伝える。</li> <li>どのような機能が必要かについては、ChatGPTを使用してもよいことを伝える。</li> </ul> <p>○評価規準</p> <p>表計算ソフトウェアの特性を見出し、その強みを最大限に生かそうとするとともに、情報システム開発に対して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p> <p>[評価方法]行動観察、レポート</p>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のまとめ</li> <li>次回の内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに活動の振り返りを記入する。</li> <li>次回の内容を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに記入後、本時の学習内容について、挙手により確認をする。</li> </ul>

※ChatGPTについては、ガイドラインに従って利用している。